

WordCamp Asia 2023

# ブロックテーマ時代にテーマ開発者は どうやってマネタイズできる？

Hidekazu Ishikawa

@kurudrive



WordCamp Asia 2023

# How can theme developers monetize in the era of Block Themes?

Hidekazu Ishikawa  
@kurudrive





# Who am I ? - Self introduction -

---

## Hidekazu Ishikawa

 From Japan

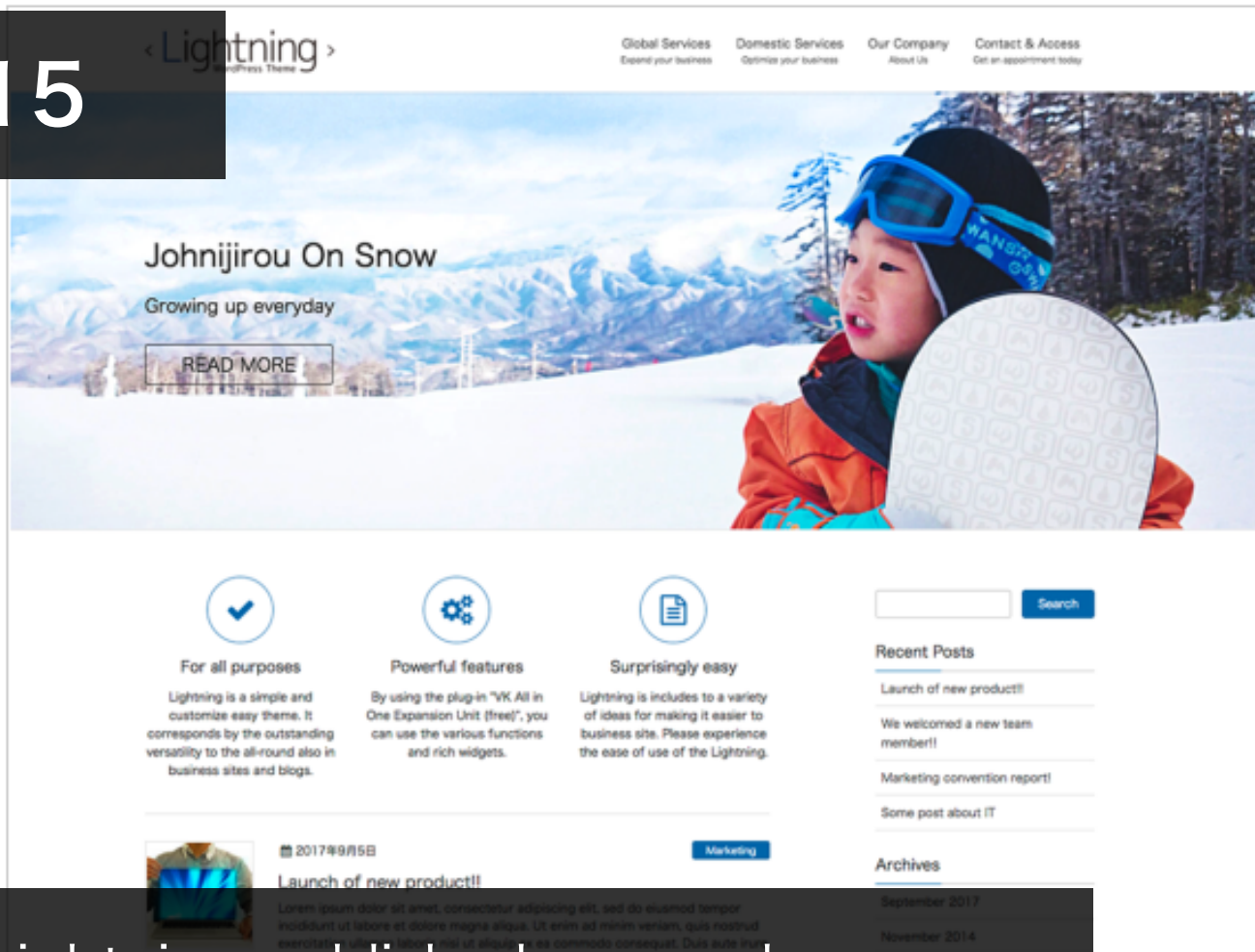
 Theme developer



Since 2012, I have developed and distributed general-purpose WordPress themes for business in Japan.



# 2015



Theme Lightning published on wordpress.org

Thanks to 80,000+ active installs

Lightning is a very simple & easy to customize theme which is based on the Bootstrap. It is also very friendly with custom post types and custom taxonomies. When you add a new one, the breadcrumbs will be adjusted and posts will look beautifully without editing or adding a template files.

Preview

Download

Version: 15.2.4

Last updated: December 26, 2022

Active Installations: 80,000+

WordPress Version: 5.5 or higher

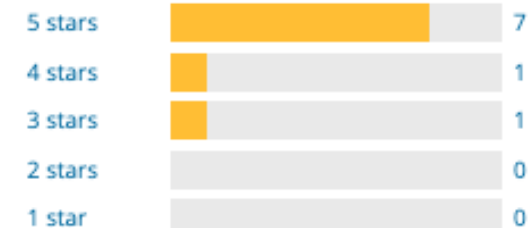
PHP Version: 5.6.0 or higher

[Theme Homepage](#) →

## Ratings

[See all >](#)

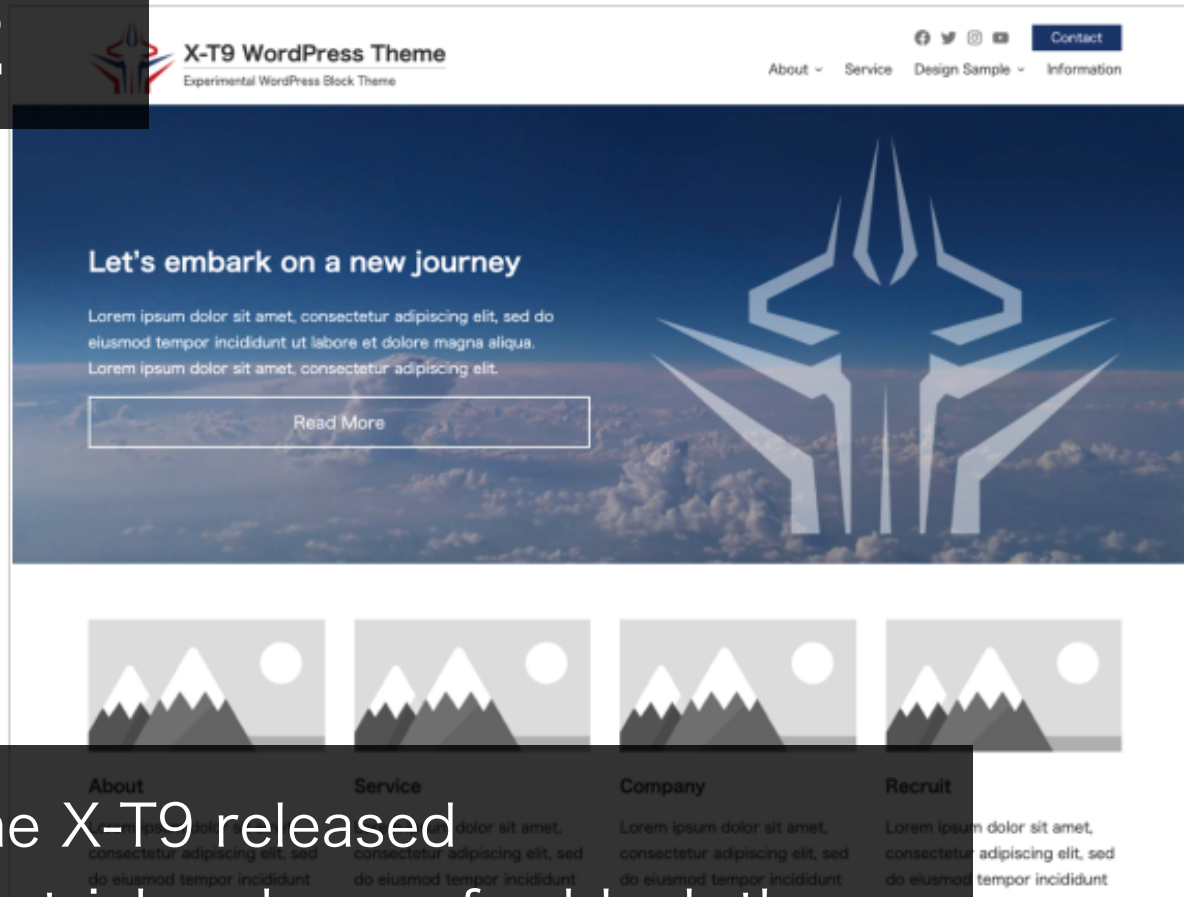
★★★★☆ 4.5 out of 5 stars.



Add my review

2022

X-T9 By *Hidekazu Ishikawa*



Style variations

Preview

Download

Version: 1.3.4

Last updated: December 23, 2022

Active Installations: 200+

WordPress Version: 6.1 or higher

PHP Version: 7.2 or higher

[Theme Homepage →](#)

## Ratings

[See all >](#)

This theme has not been rated yet.

5 stars		0
4 stars		0
3 stars		0
2 stars		0
1 star		0

[Add my review](#)

Block theme X-T9 released  
Currently in trial and error for block theme

In addition, development and sales of other plug-ins

# Business model of theme authors before full site editing

---

- Theme sales (Classic)
- Selling plugins of theme function extension
- Selling plugins of extension block ... etc.

Simply create a theme → Sell zip file  
Relatively easy to sell and make money.





# **F**eeling that monetization has become difficult

---

マネタイズが難しくなったと思うポイント



**Vektor, Inc.**  
WordPress Solutions

# # 01

## **Traditional monetization points become less effective**

従来のマネタイズポイントが通用しにくい

# Before Full Site Editing

---

- 💬 Want to change the display element of the header
- 💬 Want to change the layout of my site
- 💬 Want to change fonts and colors ... etc

Users who don't understand code and CSS cannot customize as desired.



Premium version that is easy to customize.

# フルサイト編集前

---

- 💬 ヘッダーの表示要素を変更したい
- 💬 サイトのレイアウトを変更したい
- 💬 フォントやカラーを変更したい

プログラムがわからない一般ユーザーは思うようにカスタマイズできない



カスタマイズしやすい高機能版

# Era of Full Site Editing

---

The entire site can be customized with no code!

- header and footer layout
- Specify color and font size
- Margin / Padding / Gap settings ...etc

So far, theme developers have implemented their own editing functions, Now you can do it with the standard functions of WordPress!

→ Much less theme dependent.

# フルサイト編集の時代

---

ノーコードでサイト全体がカスタマイズ可能！

- ヘッダーやフッターのレイアウト
- 色や文字サイズの指定
- 共通余白設定 ...etc

テーマ独自に実装していた各種編集機能が、WordPressの標準機能でできるように！

→ テーマ依存度が著しく低くなる。

As someone who made a living out of theme sales...

# Monetization points disappeared!!!!

$((((( ;^\circ \omega^\circ )))$

かなりの死活問題...



# # 02

## 開発リスク・コストの増加

ブロックエディタ自体が発展途上のため、  
WordPressのブロックには足りない機能が多かった。

ex) 余白調整機能など

→ 多くのテーマ開発者は**独自の高性能ブロック**を実装し、  
付加価値（マネタイズポイント）としてきた。

WordPressのバージョンアップによって、  
パターンで高度なレイアウトができるようになったり、  
標準のブロックに同じ機能が追加されるなど

- 付加価値の消失
- リリース済のブロックは継続的なメンテナンスの負担
- 無駄な新規開発をしないようにGutenbergの開発を細かくチェックし続けなくてはならない

- おそらく多くのテーマ&カスタムブロック開発者がこの問題に直面している
- しかし、WordPressの進化の過程としては仕方ない。

# WordPressの出力するCSSの複雑化

---

- WordPress本体が出力するCSSの影響力が強くなった
- ブロックのCSSなどの仕様変更対応が大変
- CSSの知識とは別にWordPressのCSSの作法を理解する事がほぼ必須になった

このように、  
テーマ開発者がマネタイズのポイントとしてきた領域が、  
フルサイト編集の影響を大きく受ける形になり、  
"テーマ販売"というビジネスモデルは以前に比べて厳しいものになった。

# テーマ関連のビジネスはどうなる？



**Vektor, Inc.**  
WordPress Solutions

# ブロックパターンでの差別化？

---

ヘッダー / フッター / 本文用のパターンなど、  
"プレミアムパターン"として有料プラグインなどを販売するのがお  
手頃

ただし、先に述べた通り、ユーザーが自力でつukれない事はないので、  
マネタイズのポイントとしては弱い。



# 自分達のケース

---

独自の Block Pattern Directory を公開

<https://wordpress.org/patterns/> のような独自のサイト

<https://patterns.vektor-inc.co.jp/> を公開

# なぜ独自のパターンディレクトリを作ったか

- テーマ依存のスタイルの都合上、公式ディレクトリのパターンを貼り付けても違和感が出る事が多い。
- 英語圏と2バイト文字では文字の見え方が違うので、英語で綺麗に見えても日本語ではバランスが悪くなる。
- まあ...公式ディレクトリのパターンは自分たちの売上にはならないですし...

# 独自のパターンディレクトリで 有料ユーザーにプレミアム機能を提供

## 有料ユーザーの特典

1. プレミアムパターンが利用可能
2. お気に入りのパターンを登録機能
3. お気に入り登録パターンの連携機能

⚠ パターンの中には自社の有料ブロック拡張プラグインも使っているため、質の高いパターンを使うには結局有料ライセンスが必要

# 1. プレミアムパターン

- 名前の通り通常より凝ったデザインや例文など
- 課金ユーザーのみが使えるパターン

## 2. お気に入りパターン登録機能

パターンは次々増えていくので、  
自分の気に入ったパターンを登録していく機能  
※ 公式ディレクトリにもありますね...

### 3. お気に入りパターンの連携機能

お気に入りに登録したパターンを、APIで連携して、利用ユーザーのWordPress編集画面から直接使えるようにしています。

# 付加価値の高いパターンって何？

---

テーマ販売ビジネスをしていた開発者にとって、  
パターンの展開はとても重要になっている。

マネタイズの鍵となる付加価値をどこに見いだすか？

# おしゃれなパターンが多ければ ユーザーはページを簡単に作れるのか？

---

洒落たよくあるパターンはもちろん作る。けど...

- 本職じゃない人はそもそもページの構成を考えられない
- どんな文章をかけばいいのかもわからない

特定の業種の特定のページを前提に  
1 ページまるまるパターンとして提供



## エンドユーザー

自分のビジネスに応じて書き換えるだけ

## 受託制作

ページのたたき台があるので、  
クライアントと打ち合わせがスムーズ

# パターンにはローカライズが不可欠

---

単純な一部分のレイアウトパターンではなく、  
文章も含めたページ全体のパターンとして提供する場合

- そもそもその国の言語である必要がある
- 言語（文字・書体）によって最適化したデザインの方が良い
- コンテンツやデザインの傾向が地域（国）によって異なる

国内向けビジネスなら、英語圏の先駆者と競合しなくても良い

# 結局テーマビジネスはオワコンなの？



**Vektor, Inc.**  
WordPress Solutions

# 結局テーマは重要

---

サイト全体としてデザインされたパターンではなく、部分的なパターンだけ持ってきて使用したとしても、デザインの統一性に問題が出るケースが多い。

テーマとパターンはグローバルスタイルが密接に関係するので「フルサイト編集でテーマ依存が低くなる」と言っても**パターンとセットで考えるとテーマの重要性は結局高い。**

# 参入障壁は下がった？

---

プログラムが苦手なデザイナーにとっては、  
CSSだけでいろんなパターンのプロダクトを提供できる。

ただし、

- theme.json など WordPress 独自の仕様の把握が必要
- パターンはいろいろ作らないと厳しいのではないかな？

# 一般ユーザーには優れたテーマと 実用性の高いパターンが必要

---

ありとあらゆる事が設定可能になったけど...  
→ ちゃんと作ろうとすると設定手数が膨大

ゼロから作るのは手数が多すぎる

Illustrator ≠ 誰でも目的に応じたクオリティの高いチラシが作れる

# レスポンス対応

画面サイズに応じてどう表示要素を制御するか？

→ 単一画面幅でのレイアウトはなんとかできてもレスポンス性となると実際にはそう簡単にいかない。

目的に応じたテーマ・パターンがあるなら購入した方が早い

テーマ単体でのマネタイズは難しくなるが...  
付加価値のあるパターンとセットで考えると  
潜在的な可能性は非常に大きいと考えています



# さいごに

---

あなたは今後のテーマビジネスについてどう考えていますか？

twitter で意見をシェアたり、見かけたら直接意見を聞かせていただけると嬉しいです。

#WCAAsia @kurudrive